あつぎ観光ボランティアガイド協会ニュース

宮の里熊野神社の桜（撮影：小林会員）

令和６年３月号 Vol. 239
（2024 年）

発行：令和６年３月９日

あつぎ観光ボランティアガイド協会
ホームページ　https://atugikanvola.sakura.ne.jp
メールアドレス　atugikanvola@yahoo.co.jp

発行責任者　会長　田頭 文昭　　編集担当者　澤田 正弘

≪冬季入込観光客調査≫

行事区分：行事支援
日　　時：２月 11 日（日）９：00～16：00
場　　所：厚木市内５拠点
参 加 者：10 名

広沢寺温泉（七沢観光協会駐車場）

２ 月の冬、山間の広沢寺温泉駐車場に人は来ないでしょう！と思っていたところ、既に下の駐車場は10 台。普段は昼近くから込み始めますが、今日は計測開始の ９ 時から次々に来ます。なんと外国のグループ、ファミリーも来訪。「いよいよ厚木七沢にも外国の方が押寄せて来る？」　さすが、会員 Ｙ さん、焦ることなく英語のガイド。鐘ヶ嶽の説明し、登山口まで案内サービス。日本在住のドイツからの家族で、帰りもご挨拶楽しまれた様でした。他にも、米国人６人グループ、三峰へ行きたかった男性１人（軽装なのでお止めした）、インド？グループ。いよいよ七沢も SNS で有名地になりました？

今回はお客さまの生の声を載せました

「鐘ヶ嶽を一時間でトレラン周回してきました！」「駐車場は無料ですか？」「何時まで開いていますか？」「お薦めのハイキングコースは？」「日向薬師からのコース良いです」「ここから大山へ行けますか？」「この道行くとどこに行きますか？」「熊は？猪は？猿は？」「ヤマビルはいつから出ますか？」「鐘ヶ嶽はどこですか？どう行くのですか？」「鐘ヶ嶽は何がありますか？」「眺望は？」「何度も来てますよ」「健康のための散歩です」「東京、埼玉、藤沢、平塚、相模原、横浜からです」「近くて良いです」「ミツマタはいつ頃ですか」「ミツマタの場所は？」「不動尻周辺は結構残雪があり、やや危なかった」「あゆコロちゃんファイルかわい」「ATSUGI　HIKING MAP　これ良い」「日帰り温泉どこですか？」「玉翠楼の他は？」「温泉良かったです」「もう日帰り入浴終わったと言われた、早いなあ」「ますやさんどこですか？」「子供は釣りが初めてです」「何が食べられますか？」

この周辺の認知度は上がっているようですが、次回この声を生かした案内をし、リピータを増やしましょう！　（石川 記）

七沢温泉（七扇駐車場）

七沢温泉での初めての入込観光客調査なので、早めに現地到着。七扇に出向いてご挨拶をすませ、早速セッティングしましたが、案内板が邪魔になって机・パラソルの置く場所の選定に少し戸惑いました。直ぐ横に廃材の置き場所があり、これが無かったら広く場所が選べると思いました。案内板が頭にぶつかりそうで、その点に気を使いました。天候は温かく絶好の観光日和でしたが、午後になって時折流れる雲に太陽がさえぎられると、忘れていた寒さを感じる天候でした。統計をとっていて気が付いたことは上りの人数の約半分が下りの人数になっていた点です。多分日向薬師から南側に下って帰った方が多かったと思いました。15 時まではカウントする車・人が増え続け、15 時を過ぎるとパタッと減少してきました。七沢荘に向かう車がとても多い印象でした。また徒歩で帰り道を通りかかった方が、日帰り温泉に立ち寄って帰りたいという方も数件ありました。七沢荘に向かう方は殆ど七扇の左側の道を進みましたが、その道は対面交通が難しく、一旦バックして譲り合う光景が多々見られました。七扇の手前（右側）は広い道なのですが、途中で左折する必要があるので、その場所に標識があればわかり易いと思いました。ZUND-BAR（ズンド・バー）の場所を問い合わせる方も数人おられました。テレビ放映の影響は大きいと感じました。七沢温泉の入込調査は非常に車の交通量が多く、退屈する暇がなかったので、1 日が短く感じられました。

午後三時前で日が陰って寒さを感じていた時、駐車場の隣の方（当協会元会員のお知り合い？）が甘酒と焼き芋を差し入れて下さり、とても嬉しかったです。甘酒と人の思いやりにほっこりしました。帰りに甘酒のお礼をしにお隣に立ち寄ったところ、玄関先の庭に多肉植物の「虹の玉」がタタミ一畳ほどに群生して植えられており、真っ赤に紅葉してとても美しく、お言葉に甘えて分けていただきました。（横山 記）

七沢森林公園（出会いの広場）

4 日の悪天候から延期した今日は、天気も良く日差しもあり比較的穏やかな一日で、Y 先輩と実施しました。いつもはハイキング団体やバーベキューグループで賑わうのに今日は皆無で、又この日は３連休中日なのに管理事務所主催イベントもなく、人出は 600 名強程でしたが、犬の散歩をされている方が多くいらっしゃいました。中には横浜や東京から車で来られた方もいらして、“ワンちゃん”が喜びそうな場所はないか？と尋ねられたので「大山広場」をご紹介しました。

また入込調査テーブルで森林公園内の地図をお渡ししたのですが、公園管理事務所から進んだ尾根道への階段が左右とも通行止めになっていて、先に進めなかったとのお話もあり、改めて別ルートのご案内を何組かの方にしました。後でわかったのですが、公園管理

事務所の受付に「通行止め箇所案内マップ」があり公園全体では５か所ほどが通行止めとなっていました。調査の前に通行止め箇所が把握出来ていて、かつ「通行止め箇所案内マップ」が手元に用意できていたらと感じました。次回以降の入込調査では事前に公園管理事務所に確認したほうがご案内するのにベターかと思います。

アンケートは８名の方にいただきました。前日七沢温泉に一泊されて、七沢森林公園まで足を延ばされたとのことでした。「森のかけはし」をわたる方も多くいらっしゃいました。

（鈴木　記）

飯山温泉（中飯山自治会館）

冬の寒さが厳しい時期での調査にしては、比較的穏やかな日和でした。調査場所では、地場産の野菜を中心とした新鮮野菜を買い求める人で賑わっていました。飯山観音の参拝客や家族でハイキングに訪れた方などなど、やや多くの人出がありました。

飯山のロウバイを目当てに訪れる方がいて、１月末で花は終わっていることを伝えるとがっかりしていました。代りに飯山観音をご案内した所、帰りに参拝出来て良かったとお礼を言って帰っていきました。松田町の「寄（やどりぎ）ロウバイまつり」が２月中旬までなのでその時期まで咲いていると思って訪れたのでしょうか？

広報あつぎ２月号に紹介された DeNA ベースターズ選手が自主トレーニングに使用している場所を記念して設置された道標『優勝決意の地』を訪ねてきた人もいました。市民にとっては公報の影響が大きい事から「スポーツの聖地」として観光振興に役立てばと思いました。なお、この道標は飯山観音観音堂裏のハイキンゴース登り口と飯山白山山頂に設置されています。冬でも楽しむことが出来る飯山白山ハイキングに大勢訪れて欲しいと思いました。

（森島 記）

相模川三川合流地点（青少年広場）

この日は、朝は晴れていましたが、１０時ごろには雲が増え、風もあって寒い一日でした。そのため、河川敷にはテントが数張張ってありましたが、午前中は人が少ないように感じました。

多目的広場は、午前中はファミリーグランドゴルフを、昼にはキャッチボールを楽しむ人達がいましたが、午後は閑散としていました。テニスコートと野球場は、観客こそいませんでしたが、終日プレイしていました。

１０時には河川敷に車を駐車し、１０人のグループが宮ヶ瀬までサイクリングに出発しました。このグループは午後には戻って来て、各自の車に自転車を積み込み、帰っていきましたが、横浜と千葉県から来た女性２人は、「自転車で家まで帰ります。」といって、颯爽と自転車をこいで出て行きました。

昼近くには、河川敷へ入ってくる人や歩行者が増え、バーベキューを楽しむ人など河原に人が増えてきました。お子さんも多いなと思っていると、午後１時過ぎに１かたまりになってゲームかクイズをやっているようでした。そして、たくさんの凧が揚がりました。風もあったのでよく揚がり、無数の凧が高く翻る様子は壮観で、子供たちも嬉々として走り回っていました。（清田邦男 記）

≪2023 年度ガイド養成講座≫

行事区分：ガイド養成講座
日　　時：２月 10 日（土）13：00～15：00
場　　所：アミューあつぎ　ルーム 610
参 加 者：受講者６名、会員 12 名

２月 10 日(土)アミュー６階で、今年度の養成講座を開催しました。受講者は ６ 名（すでに入会済の新人会員 １ 名を含む）で、男性２名、女性４名でした。

厚木市産業振興部観光振興課から講師をお招きし、あつぎの観光振興の取り組みなどのお話をしていただきました。

今回は会員から「厚木の文化財」について１時間程、パワーポイントを使用して解説をしました。

身近なところにこれほど文化財があることを、受講者の皆様も驚かれたのではないでしょうか。

活動内容については皆様ご理解いただけたようです。感想として「自分にできるのだろうか？」「ガイドするのも大変そう」と言ったご意見もありました。ご入会のご意思をいただいたのは１名でしたが、「企画イベントに参加して実感したい」と言う前向きなアンケートもありましたので今後も継続してご案内していくつもりです。（鈴木 記）

≪訪問ガイド「五頭龍伝説の跡を辿る」≫

行事区分：訪問ガイド研修
（かながわガイド協議会、担当：江の島・藤沢ガイドクラブ）
日 時：２月９日（金）９：30～14：00
場 所：小田急片瀬江ノ島駅～江の島（辺津宮、奉安殿、中津宮、(サムエル・コッキング苑）～龍口明神社（元宮跡）～龍口寺～（湘南モノレール）～龍口明神社
参 加 者：会員４名

令和６年の干支は甲辰即ち龍。龍伝説で知られる江島神社と江島を守護する龍口明神社を訪問しました。我が班は 10 名、２人ガイドでレシーバー付きです。県下屈指の観光地は、２月の平日でも賑やかでした。江の島弁天橋からの冬の湘南の海、遠くは富士山、丹

沢、箱根、伊豆、大島が綺麗です。参道入口、扁額「江島大明神」青銅の鳥居は文政４年（1821）に再建。

まず、辺津宮を参詣。建永元年（1206）実朝の創建と伝わり、権現造りです。

この辺津宮、中津宮、奥津宮（旧岩屋本宮）の三宮の総称が江島神社です。

奉安殿には弁天様がおられます。妙音、八臂弁天様が二つあることは知りませんでした。社務所内で、神職より江嶋縁起絵巻（水戸藩御用絵師　狩野興也作）を使い「五頭龍伝説」の講話を拝聴しました。「昔、この地に人々を苦しめる五つの頭を持つ龍がおり、村の子供達も生贄とされていました。ある時、雷鳴とともに、海に島ができ、美しい弁財天が降臨しました。龍は求婚しますが、拒否されます。悔い改め、村と弁財天を守護すると誓ったため、夫婦となりました。やがて龍は江の島を向いて龍口山となりました」三宮で最も美しい朱の中津宮に特別に昇殿させて頂きました。島内は英国サムエル・コッキング氏造園の温室植物園遺構、展望灯台（シーキャンドル）みどころは沢山、綱吉をも治療した鍼師「杉山検校」の史跡等多くあります。昼食後は日蓮上人ゆかりの龍口寺訪問。観ボラの会員に「日蓮上人龍ノ口法難」は説明不要です。湘南モノレールに乗り、龍口明神社が最後です。ここは龍の「胴」にあたり、金色の龍像があります。御祭神は五頭龍大神と神武天皇の母「玉依姫」です。この五龍大神と弁財天は夫婦で 60 年に一度「還暦巳年大祭」が斉行されます。次回は 2049 年です、皆さん、是非行きましょうか？

ガイドはひとりで全て説明、サブは最後尾で全体をフォローしていました。人混みの中、レシーバーが有効でした。途中に担当ガイドクラブの人達の配置が多く、案内・誘導がスムーズでした。

ところで、湘南モノレールに初めて乗った会員は大喜びでした。珍しい懸垂型で、トンネルもあり、眼下の道路の車を見ながら、右に左に結構なスピードで飛び回るまさに「龍」でした！　（石川 記）

≪かながわガイド協議会幹部会議≫

行事区分：幹部研修会（かながわガイド協議会主催、担当＝鎌倉ガイド協会）
日 時：2月 16日（金）9：30～15：30
場 所：鎌倉市大船（鎌倉芸術館）
参 加 者：会員２名

かながわガイド協議会の加盟団体 19 団体の 39 名とかながわガイド協議会より役員の方６名が参加され開催されました。今回の幹部研修会は、午前中の全体会議＆鎌倉国宝館の学芸員山本みなみ講師による講演と午後は分科会で「コロナ禍により価値観が変化した後のガイドのあり方」をテーマに発表と討議を実施。

全体会議では、かながわガイド協議会三村会長のご挨拶と担当の鎌倉ガイド協議会石井会長のご挨拶がありました。

三村会長より、本日の山本みなみ氏の講演内容と今回の分科会での各団体共通のコロナ禍課題に対する意義についての話がありました。また、石井会長より鎌倉ガイド協会の発足と歴史や、現状の活動についての話がありました。

山本みなみ講師による講演は、「鎌倉時代の女性たち～北条政子・本覚尼を中心に～」のテーマであり北条政子の生涯（頼朝との出会い、鎌倉殿の妻として、頼朝の死、実朝の時代、晩年と泰時政権）と本覚尼(ほんがくに＝源実朝の正室)の生涯（誕生から婚姻、鎌倉での生活、再び京へ、置文の執筆）と鎌倉幕府を支えてた二人の女性の話がありました。

午後の分科会では、Ａグループ（９団体）とＢグループ（9 団体）に分れて行われ、当協会はＢグループに参加して「コロナ禍により価値観が変化した後のガイドのあり方」発表・討議を行いました。事前にアンケートの提出を要請されており、質問項目について各団体が発表しました。

・コロナ禍前と比較しての変化、ガイド参加者の回復は？
・ガイドの高齢化や体力低下による活動内容の変化は？
・新たな活動内容の検討、ホームページの管理は、チラシの配布数や場所は？
・新たなガイド活動の柱は、地元とのタイアップ活動、外国語ガイド、会員の講演会は、高齢化しつつあるガイドの研修は？

分科会の中で気になったキーワードは

・平日ガイドと休日ガイド、団体内部の体質改善の取組み、シニアガイド、午前ガイドと午後ガイド、グループ勉強会、にぎわいガイド（人気飲食店の紹介）、有名な武将をテーマのガイド

最終の全体会議でのまとめ

コロナ禍の参加者の回復は２極化、各団体の努力がみえる（ホームページの工夫、行政との協力、ガイド内容の変更等）、今後もコロナ禍以前の体制・活動の状況に対する努力をお願いしたい。　以上、15 時 40 分に会議終了解散となりました。　（田頭 記）

南伊豆町の河津桜
（トンちゃんも桜見物）
（撮影：髙橋会員）

会員投稿 ----------

《 震災伝承碑を訪ねて （厚木～清川村） 》

茂木 友美子

３ 月に入りまして卒業式等の式典があったり、様々な節目の月を迎えました。そして当、あつぎ観光ボランティアガイド協会は 21 年目に突入します。

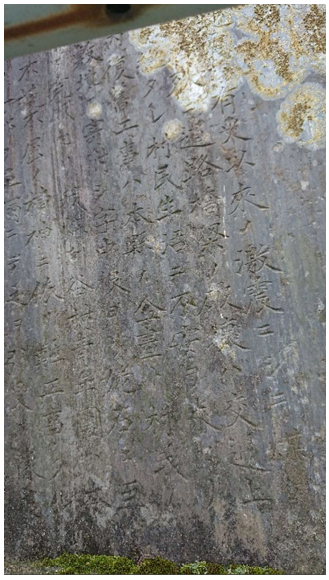
３ 月というのは又、私にとって忘れられない出来事、東日本大震災が起きた月でもあります。東北地方をはじめとして、東日本という名を冠した通り、被害は広域に及びました。

震災について、遡ると大正 12 年、関東大震災がその年の９月に起きています。厚木神社境内の裏手（烏山藩厚木役所跡碑の隣）には「あゝ九月一日」という石碑が有ります。碑文には、翌年の大正 13 年の９月に有志によって建てられたとあり、厚木の被災した家屋、人々についてのことが記されています。相模川に架かる橋、相模橋も大きな被害にあったようです。

関東大震災の痕跡をもう少し辿ってみますと、清川村尾崎交差点、茶畑が連なっている附近に震災の事を示す石碑が有りました。金網に覆われた奥に「大正十二年九月一日」「有史以来の激震」という文字を認めます。漢字と片仮名で刻まれた碑文にその時代を窺い知ることができます。当初からこの場所に作られたというよりは、他から移されたもののように思えました。道路の拡張工事や開発によるものでしょうか。そういうことがあったにせよ、今、こうして私達の前に存在し、見ることができるという事に感慨深い気持ちになります。

関東大震災所縁の厚木市、そして清川村の石碑、この碑文は今を生きる私達への訓戒であり、そこにかつて暮らしていた人々、その込められた思いに胸が打たれます。関東大震災から 100 年が経過し、災害はより身近で日常と化しています。新年度を迎えるにあたって先人達へ思いを致し、今一度考えてみるのも良い機会なのかもしれません。

メッシュ越しに撮影



メッシュ下方から撮影

最　近　の　活　動

日　付	場　所	内　容	参　加　者
２月　９日	江の島	訪問ガイド研修 「五頭龍伝説の跡を辿る」	会員　４名
２月　10日	アミューあつぎ	定　例　会	会員　21名
２月　10日	アミューあつぎ	ガイド養成講座	会員　12名
２月　11日	市内５拠点	冬季入込観光客調査	会員　10名
２月　18日	鎌倉市	かながわガイド協議会 「幹部研修会」	会員　２名
２月　18日	睦合北公民館	創立20周年記念誌編集委員会＃17	会員　４名
２月　28日	奥七沢	下見　　企画ガイド 「奥七沢パワースポットと神秘の里」	会員　４名
３月　１日	奥七沢	企画ガイド 「奥七沢パワースポットと神秘の里」	会員　８名
３月　３日	荻野公民館	創立20周年記念誌編集委員会＃18	会員　５名
３月　４日	愛甲公民館	編集会議	会員　３名

編集後記

２月11日（日）に冬季入込観光客調査が行われました。天気は良かったのですが、外気温が昼間でも12℃くらいと非常に寒い日になりました。本当は１週間前の２月４日に実施予定でしたが、降雪の予報があり延期となった経緯があります。上着等は防寒具で完璧でしたが、お尻が大変冷えました。来年は座布団を持参しようと思います。昨年８月20日の夏季入込観光客調査の時は今回とは全く逆で、外気が37℃以上になり厚木市防災無線で熱中症警戒アラートが発令されました。入込観光客調査は春夏秋冬年間４回必ず全国規模で行われる行事です。体調に充分注意し、自己防衛なども考えながら、今後も協力していきましょう。

編集委員　阿部 啓冊　小林 直樹　澤田 正弘